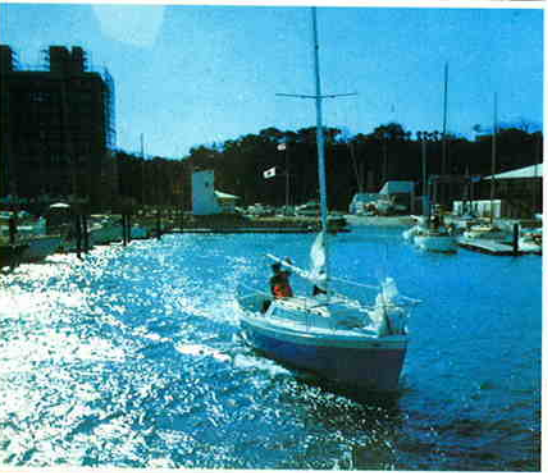




YAMAHA  
**22**  
DELUXE

# YAMAHA SAILBOAT

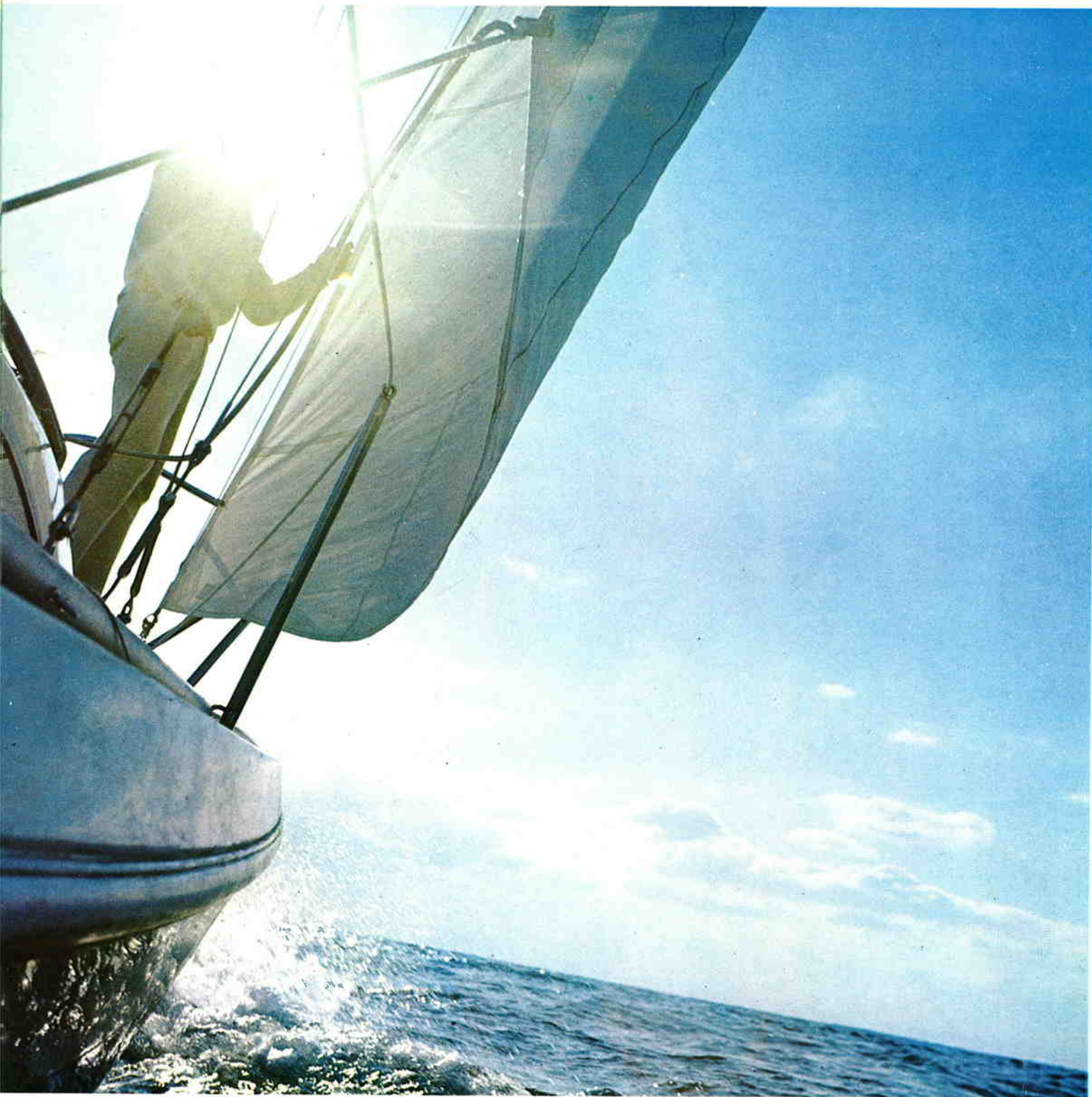




### はやる心をおさえて……入念に出航準備

セールボートを大切に使う人なら、十分に時間をかけるのが点検です。艇体、ロープ類、金具類など数ある備品をもらさずチェック。天気図とり、航海計画の連絡には、必要以上に気をくばります。食料もたっぷりつみこんで、楽しいレジャー用品に目を通したら万事OK。ヤマハ22でファミリークルージングに、さあ、出航！





## ヤマハ22がひらく海の世界

はてしなく広がるこんぺきの海。さんさんとふりそそぐ太陽。さわやかに頬をなでる潮風。自然をひとりじめできるクルージングは、新しいタイプのレジャーです。楽しみ方もじつにバラエティーに富んでいます。帆走、<sup>セーリング</sup>トローリング、フィッシング、ダイビング、クッキングなど。ご家族そろっての週末レジャーには最適。ヤマハのひらく世界は無限です。





いい風だ！ セール・オン そら帆走！

北西の風、さざ波。絶好の帆走日和。セールングデーかもめが上空を乱舞する。陽光が波に散る。風圧が伝わる帆綱、軽くいなすカジ…青い水面をまさに水を切るように爽やかに走るセールボート。人気のない海上を、風を読みながら走りながら走る——都会のスモッグも雑踏も忘れて人間らしい時間に生きる。ヤマハならではの充たされた緊張感。







スターンバルビットも標準装備です

### おいしい！——海の上だからです

空気がうまいのはもちろんのこと、それ以上においしいのが食事。なにしろ広い広い海の上、陸の上で食べるのとは気分がちがいます。この時とばかり、料理に腕をふるうコック長。獲れたばかりの魚がみるみる、テーブルに……。お手並拝見もまた楽しいものです。ヤマハ22の明るいキャビンに、広いコックピットに、楽しいひとときが流れます。







## 糸を張る——大物をフィッシュ・オン!

セーリングしながら釣り糸をひくトローリング。イカリを投げ、帆をおろして楽しむフィッシング。陸釣りでは、とてもムリなポイントにも水の上からは、カンタンに近づく。それに日本の海岸線は海の幸でイッパイ。岩や砂にさえ注意すれば、エモノはつぎつぎかかります。家族釣り大会にはもってこい。仕止めた魚はそのまま船内の調理台<sup>キッラー</sup>へ。イキのいいのが味わえます。



## 海底——まだ見ぬ世界は美しい

未知の海底をさぐる水中探訪の面白さ。ダイビングの魅力は、それを実際味わった人でないとわかりません。ウェットスーツにキチッと身をつつみ、あるときは素もぐりで、またあるときはポンベをせおって海中に挑む。群生する植物、隊伍を組んで遊泳する魚魚魚…。無重力世界さながらの自由な動きができるのも海中ならではの。ヤマハ22をベースに新しいシーハンティングの楽しさが満喫できます。







### ハーバー目ざし、夕日の中を静かに帰る

陽が傾く。この世のものとは思えない、あざやかなパープルサンセット。クルーの顔が紅く染まる、喜びにあふれる……夕暮の水平線をバックに、黒いシルエットになって、帰りをいそぐヤマハ22。茜空を水鳥が家路へ2羽3羽。灯台の明りも、だんだん長く糸をひいて。終ろうとする一日。心の安らぎをおぼえながら、ハーバーへカジをあやつる。



## 美しくなめらかで強じんなFRPの艇体

アルミより軽く、スチールより強いFRP（ガラス繊維強化プラスチック）製のヤマハ22。ボートづくりのベテラン、ヤマハがアメリカ最大のセールボートメーカー、コロンビア社と提携してつくったすぐれたセールボートです。凌波性にすぐれているばかりでなく、耐久性も抜群。しかも船型は、軽排水量型、長い水線長、浅い吃水と、かず多くの特長をそなえ、すばらしい帆走性能をひき出します。



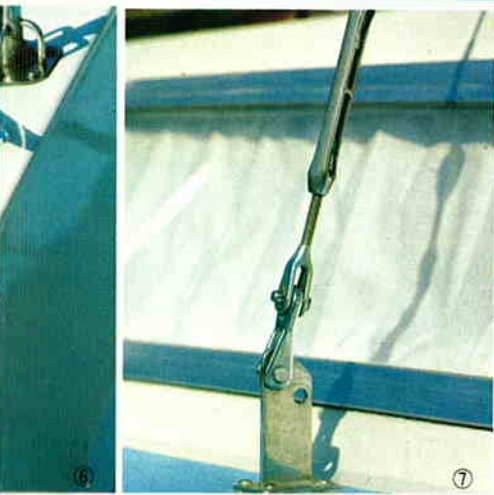
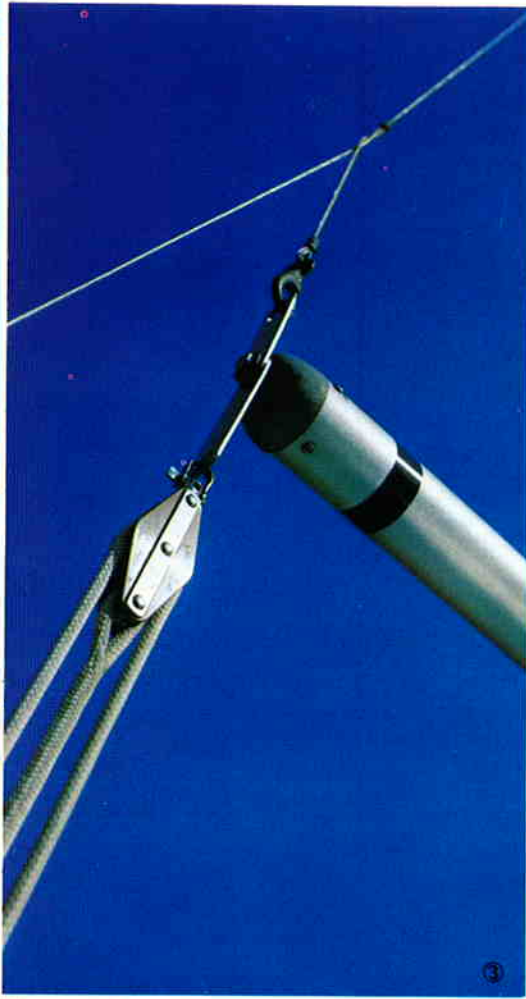
## 選びぬかれた機装品のかずかず

コックピットの広さもこのクラスでいちばん。安全性を配慮したスターンパルピット。軽く、操作のカンタンなティラー、バランスのとれたフィンキール、スピードラダーにも工夫がこらされています。そのほか、アルミ製マストとローラーリーフ式のブーム、テトロン製のメインセール、ジブセールなど機装品のひとつひとつが乗り手の立場に立ってきびしくチェックされたものばかりです。





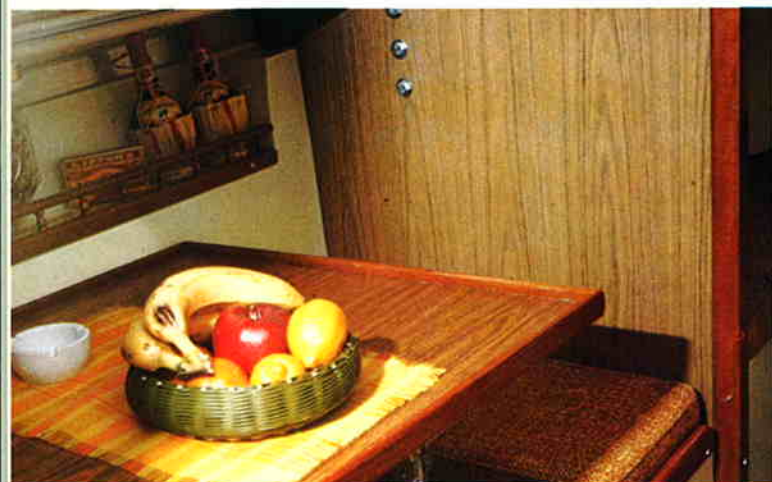
- ① **スプレッダー** 丈夫で軽いスプレッダー。マスト上部の補強にゼットが必要なのがスプレッダー。
- ② **セール** 風に強い、水に強いセール。海水にぬれてもすぐ乾くテトロン製のセール。理想的なアールで風をよくキャッチします。
- ③ **ブームエンドとブロック** 強く美しい金具類。より強く、より美しく…は艇体だけではなく、リグン類を固定するフィッティングも、またしかりです。
- ④ **フォワード ハッチ** 水ももらさぬ設計。水をかぶっても、海水の浸入を許さない構造のフォワードハッチ。セールの格納もスムーズにゆく広さです。
- ⑤ **マストとグースネック** マストとブームをがっちり連結。ブームをマストにとりつけるグースネック。セールポートの大切な部分です。ヤマハならではの強固な設計。
- ⑥ **ジブシートのウインチ、クリート** 使いやすいウインチ、クリート。帆の開きを調節するジブシート。シートをまくウインチもがん強そのもの。クリートの位置も正確です。
- ⑦ **サイドステーのターンバックル** 美しく強いステンレス製のターンバックル。マストを横から補強するサイドステーのターンバックル。綱索類を緊張させるのには、もってこいです。
- ⑧ **ライフラインのスタンション** デッキにぐるりと安全ライン。ライフラインをささえるスタンション。揺れる時には大助かりです。
- ⑨ **メインシートとティラー** 操作の軽いティラー。軽くがん丈なティラーは操作のしやすさも抜群。





## 広びろとしたキャビン——居住性は最高

合理的に配置された大きなキャビンスペース。クルージングに最も必要な“居心地の良さ”はヤマハならではのもの。使いやすい調理台、モダンな雰囲気<sup>モダンな</sup>の食卓、厚いマットレスをしいた4個のバース、ゆとりのあるロッカー、清潔なマリントイレなど、装備は一クラス上にせまる豪華さ。豊富に使用されたチーク材が船内の美しさを、いちだんとひきたてます。



### テーブル

チャートワークのしやすいテーブル——ベテランのヨットマンならじっくり選びます。ヤマハ22は装備のひとつひとつがキビしくチェックされたものばかり。広くて使いやすいテーブルと評判です。食事にティータイムにもかかせません。



### ギャレー

入念にデザインされた調理台。アイスボックス、清水タンク、流し、ポンプのどれをとってもゆきとどいた配慮が目をはきます。一度は料理をしてみたくなる…そんな気持をおこさせる、広く、明るいギャレーです。



### バース

広いキャビンに、厚くゆったりしたマットレス。豪華なチーク材のインテリア。そこが自慢のバースです。7.5メートルクラスにもない最もゼイタクな特別室。休むによし、寝るによし…航海ムードを満喫できます。



### メインキャビン

リビングルームをそっくりそのまま、海上に再現したメインキャビン。ロマンチックなパーティーに、親しい人との団らんに、時間のたつのを忘れます。まさに浮かぶ娛樂室——陸上では味わえない楽しさです。



### マリントイレ

フォアキャビンにムダなく配置されたキレイなトイレ。ファミリークルージングには安心してお出かけになれます。操作はカンタン。コンパクト化されたノクイほどの設計、と好評のマリントイレです。



## すぐれたヨットマンは 無謀はしない

ヨットマンにとって、気象の知識は必要欠くべからざるもののひとつ。すぐれたヨットマンは、すぐれた予報官でもあります。

セーリングの目的に応じた天気予報を知るために、いちばん手っとり早いのは新聞の天気図、NHK・NSBラジオの気象通報、ラジオ、テレビの天気予報。これらにより目的地の風や天気、高気圧、低気圧の動き、前線の模様や位置がだいたいわかります。もっと詳しく…例えば、湖や海岸の風速、波の程度などを知るためには、一般の天気予報のほか、目的地近くの気象台、測候所、気象協会に問い合わせるのが便利。NHK・NSBの気象通報から天気図を作ることも出来ます。自分の書いた天気図から、天気の状態を判断し、明日、あさつての天気の変化を予想する——こうなれば もう一流のヨットマンです。そして天気が悪いとわかれば、勇気あるテックタイを！ヨットマンに必要な決断です。

## 観天望気——地域性もありますが

- 朝やけは雨、夕焼けは晴
- 星のまたたく夜は時間をおいて風
- 明けがたにもやは風、晴れるとその方向から風
- 春から夏にかけて大潮の頃の南風は強くなる
- 秋の北風は雨が少ない
- 朝、ご飯つぶが茶碗につくと晴、きれいにとれると雨
- 魚が水面から飛びはねていたら雨
- 太陽や月にかさがかかっていたら雨
- カツオブシがやわらかく削れると雨
- 雨蛙がなくと雨
- 池の魚が水面に出て、呼吸していると雨が近い

## 積込品——これだけはそろえよう！

### 修理器具

ペンチ、プライヤー、ドライバー、金ノコ、ハンマー、セール針、糸、シーナイフなど。

### 修理材料

ポロ布、パテ、針金、メクラ板など。

### 航海用具

コンパス、潮汐表、海図、時計、三角定規、ベアリングコンパス、デバイダー、鉛筆、ノートブック、懐中電灯など。

食料は多目に。パン、ビスケット、カンヰメ類は炊事ができない時のために。


飲料水は炊事用のほか、1人1日1ℓを最少限度に。


### 衣類


夏でも冷えますから、セーター、ズボン下の類は必携。ライフ・ジャケットは乗員数より多目に。積込品は各自が責任分担。チェックリストを作るのもよい方法です。置き場所をはっきりと決め、つねに整理整頓を心がけましょう。

## 海図図式——十分に読みこなそう！

岸線 —— 最高高潮面のときの水と陸地の境界線をあらわす。

危険界  このしるしのある場所には絶対に近寄らないこと。


洗岩  低潮のとき水面と岩頂がすれすれになる岩

暗岩  低潮のときも水面にあらわれない岩、特に航海上危険な暗岩を暗礁という。

水深  $6_5$  低潮面から海底までの深さをメートルであらわし、小さい数字は小数1位を示す。例えば  $6_5=6.5m$

等深線 …… 危険界 …… 2m …… 5m  
— — — 10m

底質 M=泥 R=岩 G=礫  
S=砂 Sh=貝がら

灯台  発光距離と発光間隔は灯台により異なる。

以上はほんの一例です。

## 用語解説

### バウ 艇首

### スターン 艇尾

コックピット 甲板の部分でデッキを張らない乗艇者の座席のこと。ヤマハ22のコックピットは釣りも、食事も充分楽しめる広さ。

セール 主帆のメインセール、従帆のジブセールなどがある。ヤマハのセールは強くて乾きやすいテトロン製。

フィンキール ヤマハ22は、流体力学の粋を集めたフィンキール型。安定性(スタビリティー)にすぐれている。

スケグ 後部船底、キールが突出した部分。カジの手前にある保護板。保針性を良くする。

トランサム 艇尾板。「ヤマハ丸」などと艇名を書く部分。

デッキ 甲板。前・中・後の各部甲板より成る。艇の強度と安全度を増すためにゼヒ必要。

コーミング 船べりの持ち上り。コックピットの周囲にめぐらせている。

ラダー 艇の方向をかえたり、進行方向を一定に保つためのカジ。艇の重心点からなるべく遠い艇尾に取り付けるのが効果的。出港前に充分点検すること。

ティラー カジ棒のこと。材質はおもにケヤキ、カン。強風の際、ティラーにかかる力は相当大。必ず予備品を持つこと。

マスト いわゆる帆柱。セールを張った場合に充分な強さのマストが必要。ヤマハ22のマストはアルミ製。強さ、耐蝕性とも抜群。陸上に保管する場合は水平に。

ブーム セールの下縁(フート)を取り付ける円材。グースネック金具でマストに連結。ヤマハ22のように、セールをリーフ(縮帆)できるローラーリーフ式ブームが便利。

クリート ロープを巻きつけて止める部分。艇をもやう時はしっかりとロープを結びつけることがカンジン。

ターンバックル マストを前後左右から補強するワイヤ類を緊張させる金具。ヤマハのターンバックルは強じんなステンレス製。

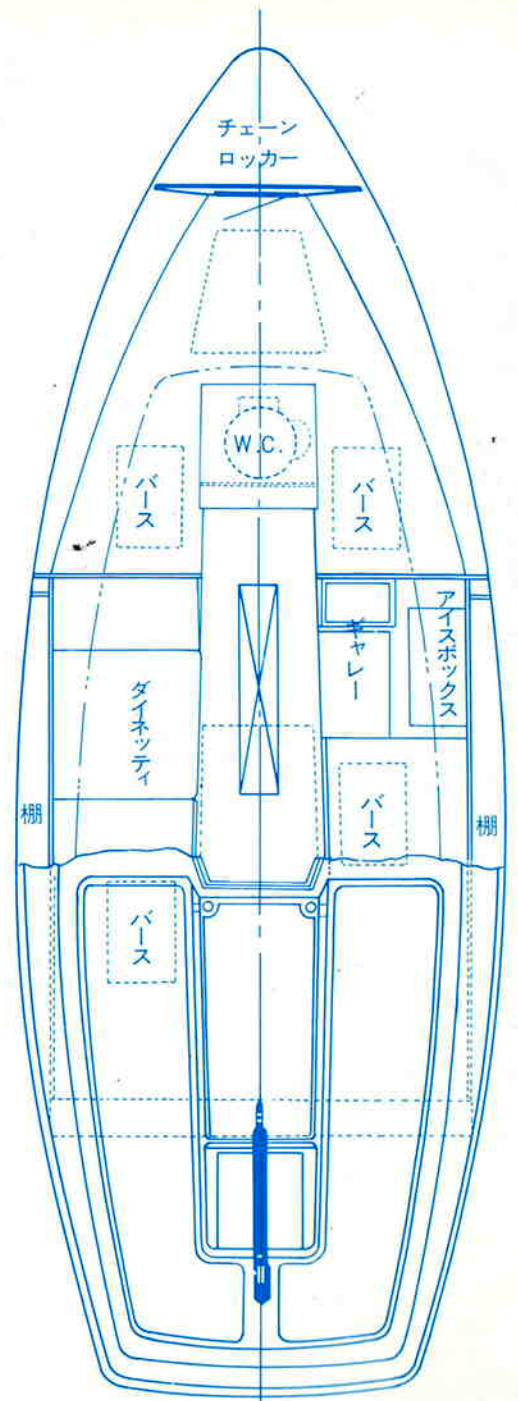
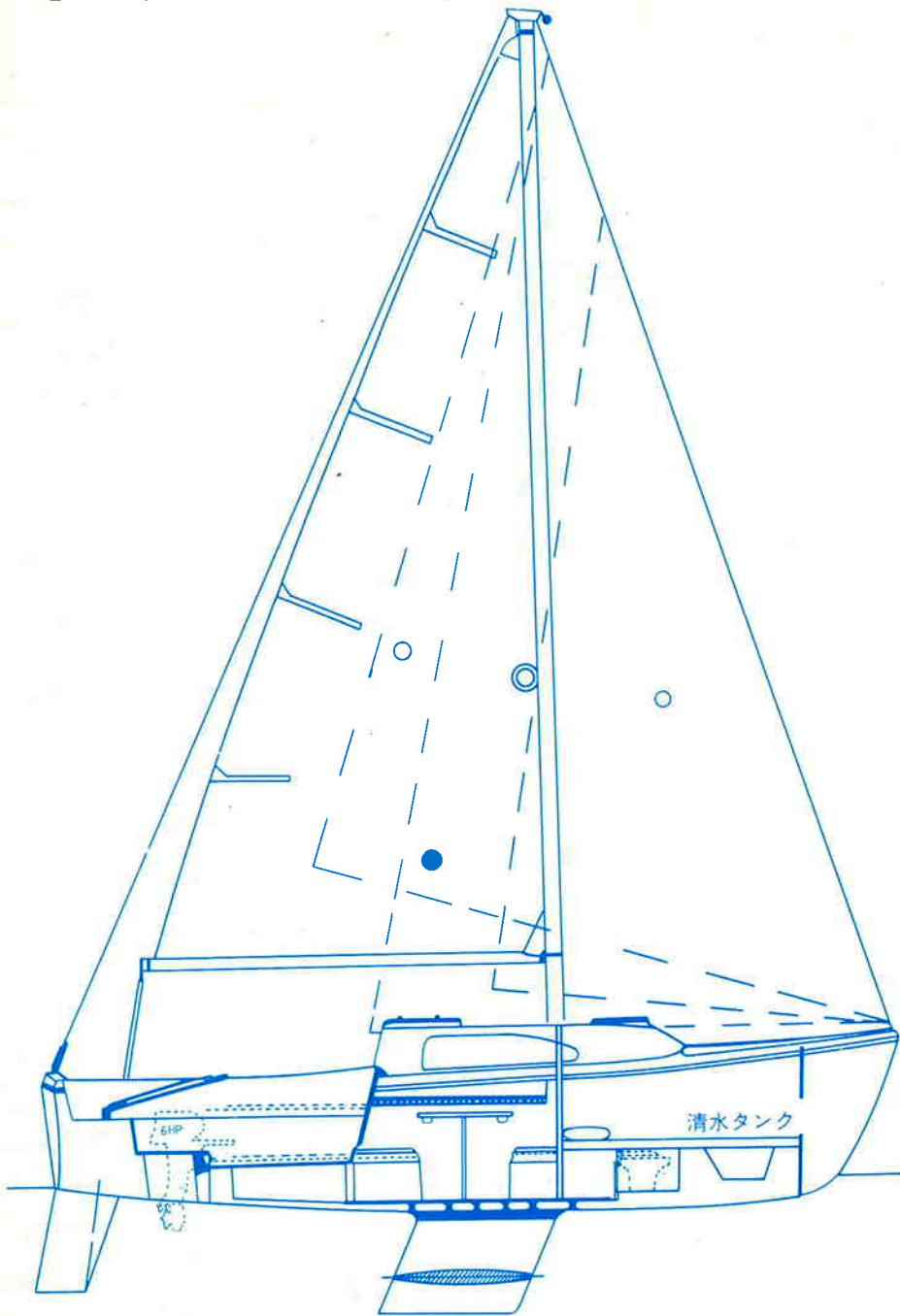
グースネック ブームをマストに取り付ける部分。ローラーリーフできる艇には、リーフィングギヤがついている。

ハリヤード メインセールを上げるメインスル・ハリヤードと、ジブセール用のジブ・ハリヤードの二種類ある。

シート メインシート、ジブシートがあり、いずれも帆の開きを調節する綱。

この「用語解説」作製にあたって、次の著書を参考にしました。「ヨット百科」舵編集部編。「クルーザー教室」関根久著。「ヨットマン必携」商船大学ヨットOB会編。






スペック

- 全長.....6.72 m (22'0")
- 水線長.....6.13 m (20'1")
- 全巾.....2.36 m (7'9")
- 吃水.....1.06 m (3'6")
- 排水量(標準艀装水態).....1250kg
- バラスト.....456kg
- 帆面積.....21.60㎡(232'")
- 補機...船外機 5~6 P.S. トランサムS

\* 本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

バラエティに富んだヤマハ船外機からお選びください。

  
**ヤマハ発動機株式会社**  
**ボート事業部**

静岡県浜名郡新居町 TEL 05359(4)1211

支店=東京(新橋) ☎03(572)2021~9・(世田谷) ☎03(424)8501・大阪 ☎06(538)7331  
 広島 ☎0822(82)4111・名古屋 ☎052(913)2121・九州(福岡市) ☎092(41)3606  
 仙台 ☎0222(22)4141・四国(高松市) ☎0878(31)1661  
 北海道(札幌市) ☎0122(51)6141